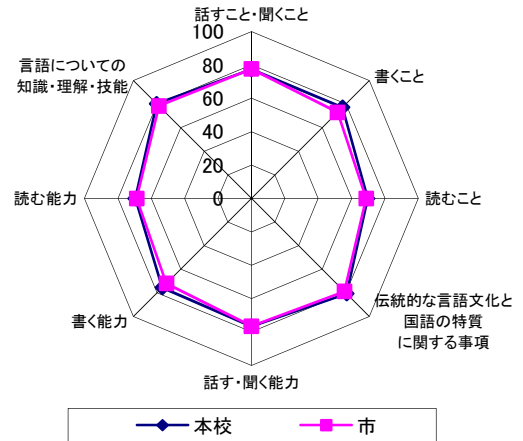


宇都宮市立古里中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	77.3	77.6	76.3
	書くこと	77.2	73.0	56.1
	読むこと	69.6	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.6	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	76.6	76.5	75.4
	書く能力	75.6	72.0	58.1
	読む能力	69.6	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	80.3	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

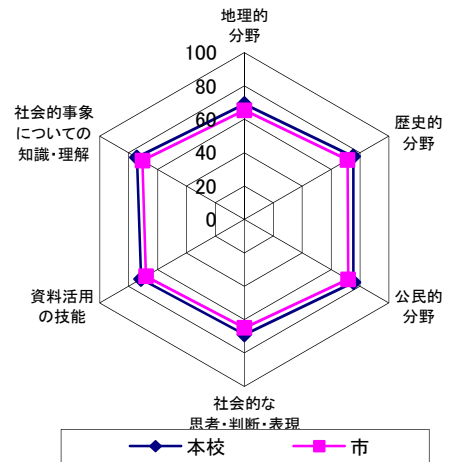
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●全体的に市平均より0.3%低かった。特に、相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものと、適切なものを選択する問題が平均より1.0%低かった。	授業中の話し合い活動では、男女間の会話が活発に行われないグループが見受けられるので、役割分担を明確にしたり、自分の意見をあらかじめメモするために、ふせん紙を使ったりして、活動を進めていきたい。話を聞くときには、メモを取る習慣を身につけさせたい。また、本校の課題でもある表現力の向上のために、普段の授業から自分の意見を表現できるよう指導していく。
書くこと	○全体的に市平均より4.2%高かった。ほとんどの生徒が根拠を明確にして作文を書くことができた。	普段の授業で作文や自分の意見を自分の言葉で書く指導を行った成果と考える。自分の意見をまとめる力を養い、さらに簡潔な文章が書けるように、具体的な例文を基に指導していきたい。また、字をていねいに書く指導を続けたい。
読むこと	○全体的に市平均より0.8%高かった。	筆者の考えを捉えたり、登場人物の心情の変化を読み取ったりする力を高めさせるために、大切な箇所にマーキングする等の指導を続けていきたい。また論説文では、筆者の主張の展開の仕方から、より説得力のある文章とはどのような展開なのかを、指導したい。本校の目標でもある表現力の向上のために、文章読解力も向上させる指導を継続して行いたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○全体的に市平均より1.9%高かった。特に、漢字の書きは全体的に出来が良かった。	何気なく使っている言葉だが、歴史の積み重ねの上に、現在の言葉があることや、人間関係を良好に保つためには、適切な言葉遣いが必要であることを指導していきたい。語彙を増やし、適切な漢字表記ができるようにしていきたい。また、古典の格調高い文学に触れ、その愉しさを伝えていきたい。古典作品は、暗唱することにより、リズムやことばの響きを感じる力を養いたい。

宇都宮市立古里中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	69.1	65.4	52.7
	歴史的分野	75.3	71.3	64.1
	公民的分野	75.4	71.8	68.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	69.0	64.9	53.5
	資料活用の技能	71.6	68.0	57.3
	社会的事象についての知識・理解	74.4	70.6	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

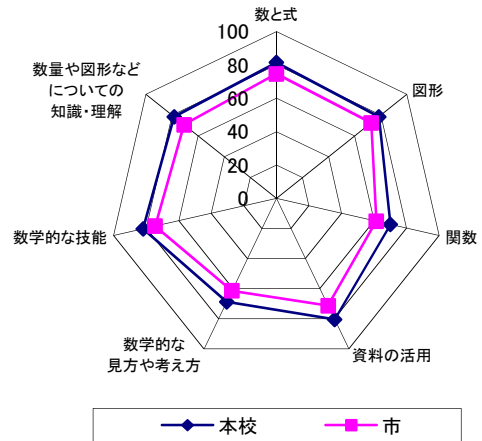
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○地理的分野は、宇都宮市平均と比べて3.7%高い。ほとんどの問題で市平均を上回っていた。普段から ●地形図の読み取り、写真の読み取りに関する問題が市平均を下回った。また、資料をもとに考察する問題は市平均を上回っているものの44%と正答率が低い。	地形図の利用に関しては、確実に身に付けさせたい技能であることから、授業の中で学習ワークや資料集などを活用し、丁寧に指導したい。 資料の読み取りに関しては、資料集を授業の中でさらに活用し、資料の読み取り・考察に慣れさせる必要がある。
歴史的分野	○歴史的分野は、市平均と比べて4.0%高い。ほとんどの問題で市平均を上回っていた。単語記述の問題が2問出題された。正答率は公民・地理に比べて高い。 ●市平均を下回る問題が3問あった。2問は知識を問う問題で、7割近い正解率であったが、市平均を若干下回った。1問は複数の資料を関連づけ考察し、説明する問題であった。	複数の資料をもとに考察し説明する問題の校内正答率が37%と市平均より3ポイント低い。地理的分野同様、普段の授業で、資料から読み取ったことを記述する学習を取り入れていきたい。説明することに関しても、授業の最後に自分の言葉で説明し、文章でまとめる時間を確保していきたい。
公民的分野	○公民的分野は、市平均と比べて3.6%高い。大半の問題で全市平均を上回っていた。 ●市平均を下回る正答率の問題が1問だった。憲法改正手続きを問う問題の正答率が41.9%と4ポイント市平均を下回った。	公民的分野においては、単なる暗記にとどまらず、自分の将来にどのように関わるのかを実感できる授業を行ったり、時事問題に目を向けさせたりすることで、憲法改正の手続きなど世の中の仕組みを理解できるように心掛けていきたい。

宇都宮市立古里中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	81.5	74.7	72.4
	図形	78.5	72.7	62.3
	関数	70.0	61.3	52.1
	資料の活用	80.5	71.3	55.6
観点別	数学的な見方や考え方	68.8	61.4	45.2
	数学的な技能	81.9	74.6	69.7
	数量や図形などについての知識・理解	78.4	70.8	61.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

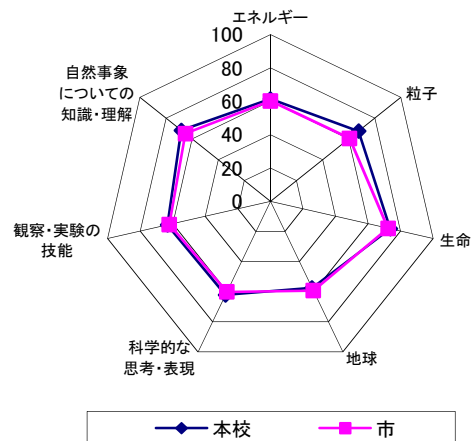
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○市の平均を6.8%上回っている。 ○正負の数、式の計算、平方根、連立方程式の基本的な計算の正答率はほぼ90%を超えている。 ●やや複雑な計算については正答率が低い。 ●用語の理解、定着が不十分である。	基本的な計算を確実に定着させるために今後も個別指導や反復練習などの充実を図る。 「自然数」、「比例式」などの用語の意味を理解し、定着するように復習の機会を多くもつようにする。
図形	○市の平均を5.8%上回っている。 ●立体の体積に関する問題や条件にあった多角形を求める問題、平行四辺形の性質や証明の記述の問題の正答率が60~70%台である。 ○「相似な図形」については基本的な内容が理解できている。	授業の中で、具体物を使ったり、実験等を行ったりしながら、面積や体積の求め方をしっかりと理解させ、反復練習させたい。 2年生では「平行と合同」、「三角形と四角形」と学習を進めるが、平行四辺形の学習はその最終段階である。既知の内容と関連づけながら丁寧に学習を進めていくようにしたい。
関数	○市の平均を8.7%上回っている。 ○表から式をつくることや変域を求める問題の正答率はほぼ80%を超えている。「関数」の基本的な内容は定着している。 ●活用の問題では正答率が低くなる。	「関数」は難しいという意識をもたせないように指導し、基本的な内容をしっかりと理解させるようにする。 発展的な課題に取り組ませる機会を多くもち、基本的な知識、技能を活用することで、その面白さや便利さを体験させるようにしたい。
資料の活用	○市の平均を9.2%上回っている。 ○平均値の意味、確率の求め方の問題の正答率は90%を超えているので良好である。 ●相対度数を求める問題が正答率64.5%と低い。 ●「確率」の活用の判断の理由の説明を求められる問題では正答率が54%であった。	「資料の活用」は1年生の学習内容であるため用語の意味や求め方などを繰り返し確認し定着を図るようにする。 学習した内容を活用する力を高めるために、身近な事象やゲームなどを取り上げ、興味・関心をもたせる工夫をしながら課題に取り組ませるようにしたい。

宇都宮市立古里中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	61.4	60.2	57.6
	粒子	67.6	60.6	55.1
	生命	73.7	72.3	63.6
	地球	57.4	59.3	50.4
観点別	科学的な思考・表現	62.1	60.2	57.3
	観察・実験の技能	63.3	62.1	57.5
	自然事象についての知識・理解	68.3	65.2	57.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

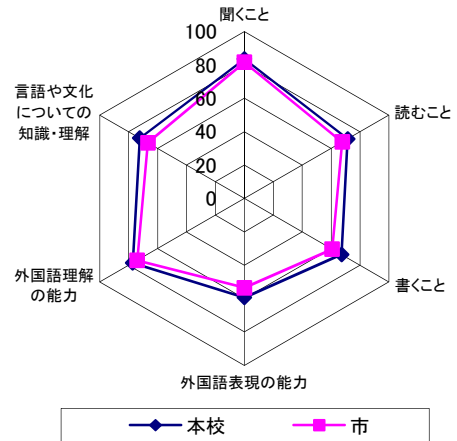
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	<p>○水圧と水の深さの関係の問題では市の平均を14%以上大きく上回っている。電流と磁界、物体の運動の問題ではほぼ市の平均と同じであった。</p> <p>●水圧が働く方向についての問題では市の平均を6.5%下回っている。</p>	<p>同じ内容の問題で、よくできている問題とそうでない問題があるので、実験内容をしっかり示し、結果の確認を確実にを行うようにする。</p>
粒子	<p>○粒子の単元の問題はすべて市の平均を上回っている。特に酸素の発生方法の問題は10.7%、水溶液とイオンの問題では市の平均を17%以上、上回っている。化学変化の問題についても平均を上回っている。</p>	<p>変化のはっきりしている実験についての問題はよくできているので、今後とも生徒が理解しやすい実験を心掛ける。</p> <p>抽象的な概念のイオンについての問題もよくできているので、今後とも実験を丁寧に行い、生徒の思考を伸ばせるように、実験を繰り返し行うようにする。</p>
生命	<p>○光合成に必要な気体、対照実験の活用問題では2~4%、生物の細胞の問題では4~5%市の平均を上回っている。</p> <p>●生物の遺伝の問題では、1~5%市の平均をすべて下回っている。</p>	<p>優性形質や親の特徴が孫の代に現れる割合など遺伝の問題が定着していないため、遺伝のしくみについて映像資料を活用して興味・関心を高める授業を行う。</p>
地球	<p>○柱状図から地層のでき方を問う問題では、3.2%市の平均を上回っている。</p> <p>●柱状図から過去の噴火を読み取る問題では6.5%市の平均を下回っている。雲のでき方と水蒸気の問題では2%程度市の平均を下回っている。</p>	<p>実験・観察ができない単元については映像資料等を効果的に提示するとともに、簡単な実験を取り入れ、興味・関心を高める授業を行う。</p>

宇都宮市立古里中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	83.5	81.7	75.3
	読むこと	71.4	67.7	62.9
	書くこと	67.2	60.7	52.8
観点別	外国語表現の能力	59.3	53.5	44.8
	外国語理解の能力	77.2	74.2	67.8
	言語や文化についての知識・理解	72.4	66.8	63.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○ほとんどの問題で宇都宮市の平均を上回っている。特に、対話の内容の聞き取りについては、ほとんどの問題で宇都宮市の平均を3%程度上回っている。</p> <p>●絵を適切に表している英文を聞き取る問題で、その動作についての問いでは97.6%の生徒が正解しているが、宇都宮市の平均を0.7%下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>英語による授業やALTとの対話活動から、絵やグラフなどを比較する活動などを増やし力をつけていきたい。また、インタビュー活動を通して英文特有の表現を含む既習事項を繰り返し練習し、定着を図りたい。</p>
読むこと	<p>○ほとんどの問題で宇都宮市の平均を上回っている。特に、語形・語法を理解する問いでは、宇都宮市の平均を10%近く上回っているものもある。</p> <p>●対話の流れとグラフから、適切な発言を判断する問題では、83.9%と多くの生徒が正解しているが、宇都宮市の平均より0.6%少なかった。</p>	<p>授業の中で、単語や文法は繰り返し復習できる機会を増やしていきたい。また、まとまった英文を読む機会を増やしたり、普段から教科書の文中の指示語を明確にし、文の大まかな内容を把握する活動を多く取り入れたい。</p>
書くこと	<p>○全体として良くできており、すべての問題で宇都宮市の正答率を上回っている。特に、基本的な語彙や、対話の流れに合った英文を自分で考えて書いたりする問いでは、宇都宮市の平均を10%程度上回っているものもいくつかある。</p> <p>●多くの問題で70%以上の正答率であるのに対し、where to ~など疑問詞を含むフレーズの文を書く問題の正答率は37.1%で、低かった。</p>	<p>場面に応じて英作文を書けるようにするために、文法の語形・語法はもとより、使用場面も意識させる課題を設定していきたい。また、今後も基礎基本の文法事項を定着させるドリル活動を行い、5W1Hを意識した英作文の課題設定を工夫し、更なる向上を図りたい。</p>